

音響芸術科ノートパソコン必携化について

音響芸術科では、2年間の学生生活の中で、個人で使用可能なノートパソコンを持参して学ぶ※BYOD（Bring Your Own Device）に取り組み、エンターテインメント業界が求めるスキルに対応できる力を獲得することを目指します。パソコンを使用した授業、レポート作成、履修登録や成績確認、Google Classroom を使用した連絡や質問など学生生活や就職活動などの様々な場面でパソコンを活用します。

新入生の皆さんはノートパソコンの仕様（スペック）を確認のうえ、2026年4月の授業が始まるまでに、個人で使用できるノートパソコンをご準備ください。自宅へのインターネット回線の導入も推奨です。（学内には共通無線LANがあります）

※BYOD とは Bring Your Own Device の頭文字で「個人が保有するパソコンなどの端末を活用すること」です。

【目的】

- ① エンターテインメント業界が求める ICT スキルの習得
- ② ICT を活用した講義の受講
- ③ インターネットを活用した資料の収集
- ④ 学内の配布物、提出物のペーパーレス化

【ノートパソコンの要件】

◆OS 要件

① OS は、Windows または MacOS のいずれかで、入学時点においてサポート有効期限内であること。サポート情報は以下のサイトで確認願います。

[マイクロソフト社公式サイト](#)

[アップル社公式サイト](#)

- ② Chromebook は不可とする ※各種ソフトウェアの使用に制限があるため
- ③ Mac の場合ウイルス対策ソフトウェアをインストールし稼働していること

◆使用するソフトウェア

- ① Google Classroom ※入学後に案内します
- ② Campus Plan Web Service（学内成績管理システム）※入学後に案内します
- ③ Microsoft Office ※入学後、個人に配布されるメールアドレスで2年間 Office 365 Education A1 が無償にて使用できます。
- ④ Adobe Creative Cloud ※学校のパソコンで学習しますが個別で学習や作品制作をした

い場合は教育用をご案内します。必須ではありません。

【東放学園音響専門学校 音響芸術科が推奨するスペック】

| 区分 | Windows モデル | Mac モデル |
|-------------|--|--------------------------------------|
| OS | Windows10 以上 | Mac OS11 Big Sur 以上 |
| CPU | 第 10 世代の Intel Core i5 程度以上 | M1 チップ以上 |
| メモリ | 8GB 以上 ※1 | |
| SSD/HDD | SSD または HDD 256GB 程度 ※2 | |
| ディスプレイ (解像) | 1,920×1,080 ドット以上 | |
| 音声入出力機能 | ○ ※3 | |
| Web カメラ | ○ ※3 | |
| Wi-Fi | IEEE802.11 a/g/n/ac いずれかに対応 | |
| インターフェイス | USB ポート (USB Type A 又は Type C) を有すること | Thunderbolt3 又は USB Type C を有すること |
| バッテリー駆動時間 | カタログ値で 10 時間以上が望ましい | |
| 重量 | 軽量で薄型が望ましい ※4 | |

- ※1 メモリが 16GB あることで同時に複数のアプリケーションが動作しやすくなります
- ※2 SSD は HDD に比べ価格は上がりますが高速で消費電力も少ないためお勧めします
- ※3 カメラ及びマイクが内蔵されているか別途 Web カメラ・マイクを接続できること
- ※4 毎日持ち歩くのであれば 1.3kg 以下をお勧めします
- ※5 タブレットタイプの PC の場合はキーボード必須

上記要件を満たすノートパソコンをご用意ください。また、すでにノートパソコンをお持ちの方で上記要件を満たしている場合は、新たに購入いただく必要はありません。使用して性能不足を感じた場合は買い替えをご検討ください。